

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 総務課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> 平和事業の実施により、平和の尊さへの理解を促進する。 自治基本条例の周知や市民参画を推進し、市民が主役の自治(市民自治)を確立する。 本庁舎の維持管理及び公用車の維持管理を行う。 								
	課長名	吉峯 禎利		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	999,906 千円	人件費	目安の金額	課長	6	人
						令和2年度当初予算額(B)	1,180,864 千円		314,000 千円	係長	11	人
				増減額(A-B)	-180,958 千円			職員	18	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			(仮称)平和資料館建設事業(投資)	戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、新たに「(仮称)平和資料館」を建設する。	令和2年度に着工した建物建築工事の進捗を適切に管理することにより、令和3年度に実施する外構工事等を着実に進める。また、展示製作及び展示手法・施設運営の検討、施設のPRなど、開館準備を進め、令和4年度の開館を目指す。	570,300	74,100	-496,200
2	○		(仮称)平和資料館建設事業(行政)	10,100			14,400	4,300	
3	○	○	<新>(仮称)平和資料館建設事業(債務)				297,846	297,846	
4	○			非核・平和推進事業	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、事業を実施するもの。	引き続き「嘉代子桜・親子桜」の植樹のほか、「青少年ピースフォーラム」(長崎市主催)への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等を実施する。また、戦争体験談を収集し、DVDや小冊子にまとめるなど、戦争の記憶を後世へと伝えていく取り組みを進めていく。	10,000	10,000	0
5	○			北九州市自治基本条例推進事業	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」(2010年10月1日施行)の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や市民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。また、特に市政への関心が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演に取り組む。	1,446	1,110	-336
6				北九州市民憲章推進事業	自治会をはじめとするまちづくり団体などから構成され、市民憲章の普及啓発を行う「北九州市民憲章推進協議会」(任意団体)に対して、補助金を交付する。	引き続き、団体に助成し、市民憲章の普及及び啓発のための企画及び実践活動を行う。	1,215	1,215	0
7				表彰関係事務	市表彰式の開催及び表彰受賞者への記念品を贈呈する	—	2,997	2,959	-38
8				総務一般管理費	一般管理費	—	22,547	21,822	-725
9				総務局交際費	総務局交際費	—	100	100	0
10				庁舎等整備事業	本庁舎の設備維持に係る工事を行う。	前年度同様、電気・機械設備等の計画的な更新を行う。	26,100	26,100	0
11				本庁舎電気・機械等設備管理業務	本庁舎の電気・機械等設備の維持管理を行う。	前年度同様、電気・機械設備等の効率的な運転管理を行い、省エネルギーに努める。	68,390	68,390	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				本庁舎管理事務(公共)	本庁舎の維持管理に必要な清掃等の業務委託経費及び光熱水費。	前年度同様、きめ細かな空調運転を行い、省エネルギーに努める。	248,052	247,132	-920
13				庁舎一般管理事務	庁舎管理のための一般事務費。	—	5,117	3,445	-1,672
14				車両管理事務(法律・条例)	庁舎管理所管の公用車の車検に伴う法定費用及び市全体の公用車に係る任意保険料。	前年度同様、法令に基づき、車検等の車両整備を行い、公用車の適正な管理を行う。	16,861	14,172	-2,689
15				車両管理事務	庁舎管理所管の公用車の車検整備等費用及び燃料費。		10,735	11,208	473
16				室町駐車場管理事務(公共)	室町駐車場(公用車駐車部分)の管理経費。	前年度同様、駐車場施設の適正な管理を行う。	12,300	12,757	457
17				本庁舎警備業務	本庁舎の秩序の維持、災害及び盗難の防止等に従事する警備業者への業務委託経費。	前年度同様、本庁舎の秩序の維持等の適正な管理を行う。	75,504	88,000	12,496
18		○		議会棟本館冷温水配管更新事業	議会棟本館の空調用冷温水配管の更新を行う。	—	11,300		-11,300
19		○		本庁舎冷却塔改修工事	本庁舎の冷却塔の改修を行う。	—	21,000		-21,000
20		○		議会棟エレベータ更新事業	議会棟のエレベータの更新を行う。	—	35,000		-35,000
21				本庁舎ボイラー更新事業	本庁舎のボイラーの更新を行う。	—	24,000	43,800	19,800
22		○		本庁舎個別施設計画策定事業	令和2年度までに策定することとされている個別施設計画を策定する。	—	7,800		-7,800
23		○		<新>本庁舎冷却水ポンプ更新事業	本庁舎の冷却水ポンプの更新を行う。	—		1,350	1,350
24		○		<新>公用車における環境車の導入	環境車の導入に速やかに対応するため、本庁舎地下駐車場に電気自動車用充電設備を整備する。	—		60,000	60,000
25		○		<新>新型コロナウイルス感染症対策広報事業	感染の拡大防止に努めながら、社会経済活動との両立を目指すため、市民向け広報事業等に取り組む。(令和2年度2月補正予算で計上)	—		0	0

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 文書課		重点項目	文書課の所管業務に関する適正化・効率化を図る。					
課長名	河田 守胤	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	33,390 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				令和2年度当初予算額(B)	38,168 千円		係長	5 人	
				増減額(A-B)	-4,778 千円		職員	6 人	
							118,000 千円		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文書課管理事務	一般事務費	—	5,443	4,986	-457
2		○		メールセンター管理運営	本庁メールセンターでの庁内メール搬送及び郵便物の受付業務に関する民間委託。	—	19,668		-19,668
3				例規データベース管理業務	市の例規データベース保守、例規の制定改廃に対応するためのデータ更新及び例規集追録の発行。	—	8,457	8,404	-53
4		○		システム基盤評価環境の移設(文書管理システム)	市内部の各種業務システムの評価環境(テスト環境)用のサーバ機器更新に伴う文書管理システムの評価環境の移設。	—	4,600		-4,600
5				メールセンター管理運営	本庁メールセンターでの庁内メール搬送及び郵便物の受付業務に関する民間委託。令和2年度から令和5年度まで債務負担行為を設定するが、令和2年度は契約行為のためのため予算額は0千円。	—	0	20,000	20,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 文書館		重点項目	・情報公開・個人情報の開示、審査会の運営を行うとともに、情報の提供の推進に努める。 ・歴史的文化的価値を有する公文書、郷土の歴史に関する文書その他の記録を収集・保存し、市民の利用に供する。			
	課長名	花本 潤一		コスト	事業費	人件費	目安の金額
			令和3年度当初予算額(A)	59,273 千円			係長 2 人
			令和2年度当初予算額(B)	15,065 千円	54,000 千円		職員 3 人
			増減額(A-B)	44,208 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文書館維持管理費(公共)	文書館の維持管理。	—	8,235	8,855	620
2				文書館運営経費	文書館の運営。 情報公開・個人情報保護・行政不服審査会の運営。	—	6,830	5,418	-1,412
3		○		文書館空調機改修事業	空調機(一般系テラー他)改修の実施設計。	—	0		0
4		○		<新>文書館空調機改修事業	空調機(一般系テラー他)の改修工事	—		45,000	45,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 行政経営課		重点項目	様々な行政課題に対応する財政基盤を築き、事業の「選択と集中」を図るため、北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。また、外部の有識者で構成する「北九州市行財政改革推進懇話会」において、行財政改革の実施状況等を検証し、その取組みを着実に推進する。						
課長名	中原田 香織	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	314,982 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
				令和2年度当初予算額(B)	257,999 千円		係長	5	人	
				増減額(A-B)	56,983 千円		職員	8	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				○ 市民サービス向上に向けたしごと改革推進事業(重点)	少子化による急速な人口減少と高齢化に伴い、自治体の経営資源が制約される。いわゆる「2040年問題」を見据え、事務事業の棚卸し、業務の抜本的な見直し、改善を行う「しごと改革」を推進するもの。	—	13,000		-13,000
2				○ 市民サービス向上に向けたしごと改革推進事業(臨時)	本市の「しごと改革」の一環として、AI(人工知能)・RPA(ロボットによる業務自動化)等のICT技術を用いて、全庁的な業務の自動化、省力化の取組を進める。	—	25,200		-25,200
3				総務事務センター委託業務(債務)	平成22年度に設置した「総務事務センター」の運営委託業務。「北九州市行財政改革大綱」に掲げる「民間にできることは民間に委ねる」という考え方に基づき、給与関連業務を中心に、人事、福利関連業務等についても委託している。(令和2年10月からの第3期契約)	・第3期契約では総務事務センター契約、教育委員会の教育総務事務センター委託業務および給与課の人事給与システム等運用支援業務の3つの契約を一本化することで、委託経費圧縮と事務の効率化を行った。 ・令和2年度予算額は、令和2年10月～令和3年3月までの半期分。	105,150	204,104	98,954
4				○ 総務事務センター委託業務(債務)	平成22年度に設置した「総務事務センター」の運営委託業務。「北九州市行財政改革大綱」に掲げる「民間にできることは民間に委ねる」という考え方に基づき、給与関連業務だけでなく、人事や福利など業務範囲を拡大した第2期の契約(令和2年9月まで)。	令和2年9月をもって第2期の契約が終了し、第3期契約に移行した。	103,604		-103,604
5				行財政改革の推進	<p>【行財政改革の推進】</p> <p>「北九州市行財政改革大綱」及びその具体的な取組みを示す「推進計画」に基づき、更なる行財政改革に取り組む。</p> <p><大綱に掲げる4つの柱></p> <p>①簡素で活力ある市役所の構築</p> <p>②外郭団体改革</p> <p>③官民の役割分担と持続的な仕事の見直し</p> <p>④公共施設のマネジメント</p> <p>【外郭団体改革の推進】</p> <p>「市の政策の一翼を担い、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができ、民間委託等でできないまたは適さない」という役割に照らして、外郭団体の運営が妥当であるか、絶えず見直しを行っていく。</p> <p>【行政評価】</p> <p>「元気発進！北九州プラン」を構成する主な事業について、PDCAサイクルによる見直しを行い、行政サービスの質の向上を図る。</p>	<p>【行財政改革の推進】</p> <p>行財政改革の実施状況等について広く有識者から意見を聴取するため、北九州市行財政改革推進懇話会を開催し、行財政改革の実施状況等の検証を行った。今後、検証結果を踏まえ、行財政改革の取組みを着実に推進していく。</p> <p>【外郭団体改革の推進】</p> <p>ミッションを踏まえた成果指標などを基に、ミッション遂行状況を評価・検証し、事業等の改善を行うPDCAサイクルによる事業運営を引き続き推進していく。また、ミッションの遂行状況や経営状況の評価等について、外郭団体評価会議において、広く有識者から意見を聴取していく。</p> <p>【行政評価】</p> <p>PDCAサイクルに沿って事業等を検証し、見直しを図っている。事業の効果的・効率的な実施を通じて、質の高い行政を実現できるよう努めていく。</p>	7,050	6,798	-252

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
6				民間活力導入の推進	北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。 ・所管局が行った指定管理者に対する評価に関して、第三者的立場から検証を行うため、指定管理者の評価に関する検討会議を開催する。 ・「民間にできることは民間に委ねる」という考え方にに基づき、これまで市が直接行ってきた業務等を、市が行う必要性やサービス水準、コスト等の視点から十分検討する。その上で、行政サービス水準の維持・向上やコスト削減等を図ることができるものは積極的に民間委託や指定管理者制度導入などを進める。	所管局が行った指定管理者に対する評価内容の第三者による検証や、指定管理者向けの研修等を行う。 指定管理者に対する社会保険労務士を活用した労働条件審査については、令和元年度から引き続き、審査対象とする指定管理者の選定基準を設けて実施する。 広告事業者が参入しやすい環境づくりを行うため、提案型ネーミングライツの検討を進める。	3,995	3,480	-515
7	○			自治体DX推進事業 (重点)	社会全体でデジタル化が進展する中、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、行政分野においても、早急なデジタル化・オンライン化が求められている。 AIやRPAなど先進的なデジタル技術を最大限活用することにより、業務を抜本的に見直す「しごと改革」(市役所のDX)を推進し、市民サービスの向上、業務の効率化、働き方の見直しを図り、「デジタル市役所」の実現を目指すもの。(継続分)	前年度同様、AI・RPA等のICTの活用を継続する。		31,800	31,800
8	○	○		<新>自治体DX推進事業 (所要額)	社会全体でデジタル化が進展する中、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、行政分野においても、早急なデジタル化・オンライン化が求められている。 AIやRPAなど先進的なデジタル技術を最大限活用することにより、業務を抜本的に見直す「しごと改革」(市役所のDX)を推進し、市民サービスの向上、業務の効率化、働き方の見直しを図り、「デジタル市役所」の実現を目指すもの。 (新規分)	AI(人工知能)の活用に向けた実証実験等を行う。		68,800	68,800

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 女性活躍推進課		重点項目	・女性の活躍による経済社会の活性化や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する。 ・子育て・介護など、多様な生活背景を持つ職員が働きやすい職場環境を整備し、性別問わず職員一人ひとりが持てる力を最大限発揮し、キャリアを形成することを支援する。						
課長名	谷内 絵理	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	151,322 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
				令和2年度当初予算額(B)	68,584 千円		係長	3	人	
				増減額(A-B)	82,738 千円		職員	4	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)		
1	○			北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業(裁量)	令和元年5月策定の特定事業主行動計画「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム(R1年度～R5年度)」に基づき、女性職員のキャリア形成及び職員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む。	子どもが生まれてからの働き方、暮らし方、家事・育児の協力体制づくりを支援するため、結婚・子育て期の職員(男性、女性、パートナーそれぞれ)を対象とした研修を実施し、イクボスとの相乗効果を高め、男性職員の育児休業取得率向上及び家庭への参画を後押しする。そうすることで、職員が仕事と家庭の充実を図ることができる環境を整え、女性活躍を強気に推進する。	6,768	6,608	-160		
2	○	○		<新>ワーク・ライフ・バランス推進事業(重点)	「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組支援や幅広く広報啓発を行う。	「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等への取組支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図りながら、「仕事と生活の調和」の取組を推進する。 また、本市全体の働き方改革の機運を高めるため、企業の働き方改革の第一線で活躍する経営者の講演など、経営者・管理職を対象とした働き方改革やイクボスに関する啓発を実施する。	7,070	6,505	-565		
3	○		ワーク・ライフ・バランス推進事業(裁量)								
4	○		ウーマンワークカフェ北九州運営事業(公共・その他)								
5	○			ウーマンワークカフェ北九州運営事業(債務)	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	延べ利用者数が年々減少傾向にあり、利用者の掘り起こしが必要であることから、親子ふれあいルーム等、身近な場での相談会開催により不安や困りごとを気軽に相談できる機会を増やし、就職活動に向けた一歩を後押しするとともに、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知を図る。	5,022	3,864	-1,158		
6	○		ウーマンワークカフェ北九州運営事業(指定)	20,000	20,000		0				
7	○	○		<新>ウーマンワークカフェ北九州開設5周年記念事業(臨時)	ウーマンワークカフェ北九州が開設5周年を迎えるため、更なる周知と利用者増に向け、集客力の高いイベントを開催する。		7,650	7,650	0		
8	○	○		女性輝き！推進事業(重点)	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、企業への働きかけや管理職研修・ネットワーク形成支援、創業支援などを行う。	2,000				1,000	-1,000
9	○			女性輝き！推進事業(裁量)	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	9,455				10,250	795

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				女性活躍推進行政一般管理	女性活躍推進課事務費	—	1,119	993	-126
11	○			次世代活躍応援事業(裁量)	子どもの頃から無意識に刷り込まれている、性別による生き方・価値観等をなくすよう、様々な機会を通じて意識付けを行う。 また、女性の理工系分野への関心を高めることを目的とした女子中学生向けの理工チャレンジ体験プログラムや、女子高校生向けの理工系職業インターンシップ支援にも取り組む。	「次世代」を対象とした事業に整理するため、事業の一部を「女性輝き！推進事業」に移管した。 また、理工チャレンジ体験プログラムについては、委託内容を精査し、予算を削減した。 さらに、新たに意識啓発や理工系職業へのインターンシップの実施支援に取り組み、将来に向けた女性活躍の推進を図る。	2,300	980	-1,320
12	○	○		<新>次世代活躍応援事業(重点)				3,000	3,000
13	○	○		<新>北九州イクボス同盟推進事業(重点)	イクボス推進の取組を市内全域に拡大するため、「働きやすいまち北九州」を目指して企業・団体トップにより設立した「北九州イクボス同盟」の普及・充実を図り、市内企業の働き方改革を推進する。	北九州市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施するとともに、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで、認知度の向上を図り、同盟の拡大を目指す。		1,500	1,500
14	○			北九州イクボス同盟推進事業(裁量)			1,500	4,455	2,955
15	○			テレワーク推進事業(債務負担)	仕事と私生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、テレワークの本格導入に向けて試行拡充を行う。	仕事と生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、感染症対策や災害発生時等での活用も含め、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、継続してテレワークの試行を行い、限られた職員数の中で全ての職員が育児休業や介護休暇を気兼ねなく取得できる組織風土を醸成する。	5,700	5,100	-600
16	○			テレワーク推進事業(通信費)				230	230
17	○	○		<新>デジタル市役所推進事業(テレワーク)(債務負担)	デジタル・ガバメントの構築を最優先政策課題として取り組むこととして示した政府の「骨太の方針」を受け、本市においてもICTを活用した「デジタル市役所」の早期実現を図る必要がある。本市職員の業務効率化及び新しい生活様式に対応した多様な働き方を可能にするため、必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進めるもの。	必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進める。		52,517	52,517
18	○	○		<新>デジタル市役所推進事業(テレワーク)(通信費)				25,170	25,170

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 男女共同参画推進課		重点項目	男女共同参画基本計画に基づく計画的・総合的な事業の実施 ・あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画を拡大すると共に、男女共同参画意識が浸透した社会、地域の実現を目指す。 ・女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶と、生涯を通じた女性の健康支援を推進する。								
	課長名	川口 美紀		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	343,456 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和2年度当初予算額(B)	401,415 千円		39,000 千円	係長	2	人
					増減額(A-B)	-57,959 千円						
									職員	1	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			男女共同参画基本計画 推進事業	男女共同参画基本計画の着実な推進のため、男女共同参画審議会などを行うとともに、DVIに対する広報・啓発を行う。		5,555	5,751	196
2	○			地域における男女共同参画 推進啓発事業	地域における広報啓発事業を通して、男女共同参画推進社会の実現を目指していく。	・小中学生向け男女共同参画副読本について、5年に一度の改訂を行い、より一層の啓発を図る。 ・地域において、女性の視点や知恵を活かすことを地域の活性化や住みよさの向上へつなげるため、地域における女性参画を促し、リーダーとなる人材を育てていく。 ・事業者・地域等における方針決定過程への女性の参画拡大を進める。	3,648	3,470	-178
3	○			(公財)アジア女性交流・ 研究フォーラム事業	男女共同参画推進という市の政策課題に対応するため、国際的な視点等も加えながら様々な事業を推進する。	・女性活躍を推進するため、男女共同参画センターにおいて女性の就業に関するスキル取得等の人材育成に資する事業や、男性の家事参加などに関する事業を実施する。 ・若年層向けのデートDV予防事業の広報・啓発など、DVIに対する更なる啓発に取り組む。 ・(公財)アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、行財政改革大綱を踏まえ、事業の見直し等に取り組むとともに、成果を市民に見える形で還元することとする。	39,000	39,000	0
4	○			男女共同参画センター管理 運営事業(指定管理)	男女共同参画センターにおいて、施設運営をはじめ、男女共同参画の推進のため、講座や相談事業など、様々な事業を行う。		339,251	251,653	-87,598
5				男女共同参画センター施設 整備事業	男女共同参画センターの施設整備を行う。	—	2,890	2,890	0
6				男女共同参画一般管理	男女共同参画推進課事務費	—	971	692	-279
7		○		生涯学習センター分館変 更事業	生涯学習センター分館への変更のため、改修を行う。	—	8,700		-8,700
8		○		男女共同参画センター施設 整備事業【男女共同参 画センター舞台照明設備 改修工事】	男女共同参画センター照明設備の整備を行う。	—	1,400		-1,400
9		○		<新>男女共同参画セン ター施設整備事業(男女 共同参画センターホール 舞台照明設備改修工事)	男女共同参画センター照明設備の改修工事を行う。	・男女共同参画センターは設置から20年以上が経過し老朽化が進んでおり、利用に支障が生じないよう計画的な大規模補修等に取り組む。		40,000	40,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 人事課		重点項目	簡素で活力ある市役所の構築に向け、職員の公務員精神の涵養とモチベーションの向上を図るとともに、職場の人材育成基盤の強化や客観性及び納得性のある人事評価制度の構築を進める。				
	課長名	コスト		事業費	令和3年度当初予算額(A)	33,819 千円	人件費	目安の金額
令和2年度当初予算額(B)			37,741 千円		係長 6 人			
				増減額(A-B)	-3,922 千円			職員 15 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				北九州市職員資格取得支援事業	日常の業務遂行(OJT)の中では得難い、高度な専門性を習得できる「資格取得」「講習会等への参加」について、希望する職員に対して必要経費の一部を助成する。	—	2,300	2,300	0
2				職員生産性向上事業	時間外削減で成果を出した部署や、積極的な時間外削減の取組を行う部署の更なる業務改善や効率的な業務遂行を支援する	全庁的な業務改善や効率的な業務遂行を支援する	3,000	3,000	0
3			○	人事評価システムリース経費	行財政改革調査会最終答申に基づき導入した人事評価システムのリース経費(H28~R2)	—	8,194		-8,194
4		○		<新>人事評価システムリース経費	行財政改革調査会最終答申に基づき導入した人事評価システムのリース経費(R3~R7)※上記4のリース契約の更新	—		5,700	5,700
5				人事管理事務	人事管理に係る一般事務費	—	12,114	11,211	-903
6				職員表彰事務	永年勤続表彰者、退職者への表彰状、感謝状贈答等	—	3,096	3,066	-30
7				訴訟事務	職員に対する行政処分について訴訟事件となったものの事務処理	—	859	797	-62
8				人事評価制度の再構築	行財政改革調査会最終答申に基づき、人事評価制度の見直しを行うもの	—	2,132	1,950	-182
9				特別転職選考による転職者向け研修	職員が職務を適切に遂行する上で必要となる知識・技能の習得を目的とした職場外研修を実施するもの	—	1,127	1,036	-91
10				職員提案事業	職場改善事例又は政策に関するアイデアを広く職員から募集する	—	647	436	-211
11				人材育成管理事務	一般事務費	—	451	520	69
12				職場育成基盤整備事業	局・課単位で行う、職員の育成指導や職員間のコミュニケーション活性化、メンタルケアの取組みなど、各職場における人材育成力を強化する	—	3,075	3,070	-5
13				訴訟事務	分限処分に係る係争費用	—	746	733	-13

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 給与課		重点項目 ① 職員に対する給与の支給を適正に行うこと ② 職員の健康保持、増進に向けた取り組みをすすめること							
	課長名	山下 耕太郎		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	18,654,548 千円	人件費	目安の金額	課長
			令和2年度当初予算額(B)	18,853,095 千円		209,500 千円	係長		4	人
			増減額(A-B)	-198,547 千円			職員		18	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			○	会計年度任用職員制度の導入に係るシステム改修	令和2年度4月から導入される会計年度任用職員制度に対応するため、庶務事務システム等の改修を行う。	—	8,500		-8,500
2				給与管理事務費	給与支給にかかる経常的経費	—	6,072	5,504	-568
3				人事給与システムの改修業務	給与改正等に対応するためのシステム改修にかかる費用	—	17,445	17,277	-168
4			○	情報システムの運用管理	人事給与システム等の運用業務及びシステム改修の業務を委託し、安定したシステム運用を目指す。	—	7,643		-7,643
5				定期健康診断等	地方公務員法、労働基準法及び労働安全衛生法の規定に基づく職員の健康管理のための事業	—	121,597	127,098	5,501
6				安全衛生管理費	安全衛生事業実施に係る事務経費	—	5,695	5,767	72
7				北九州市職員文化体育協議会交付金	地方公務員法第42条に基づき、職員の元気回復のために文化体育事業を実施	—	410	410	0
8			○	退職準備プログラム	職員の生活設計等に必要な知識・情報の提供を行う研修を実施	資産形成やライフプラン、生活設計などに必要な知識や情報を提供するセミナーについて、運営委託を廃止し市職員が運営することで、経費削減を行った。	265		-265
9				トレーニングルーム施設維持管理	トレーニングルーム施設の維持管理費	—	2,039	2,275	236
10				総務職員費	総務局等の職員に対する人件費	—	18,682,877	18,495,666	-187,211
11				特別職議員報酬等審議会	条例に基づく特別職議員報酬等審議会開催に伴う経費	—	552	551	-1

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 福利課		重点項目	退職者にかかる退隠料等の支払を適正に行うこと					
課長名	谷 聡之	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	6,429 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
				令和2年度当初予算額(B)	7,129 千円		係長	4 人	
				増減額(A-B)	-700 千円		職員	15 人	
							164,000 千円		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				○ システム基盤評価環境移設に伴う福利厚生システム移行作業	情報政策課管理のシステム基盤評価環境サーバ機器の老朽化による更新に伴う、同環境利用の福利厚生システムの新サーバへの移行作業を行うもの	—	700		-700
2				退隠料等事務	昭和37年11月30日以前の退職者にかかる退隠料等の支払事務	—	6,429	6,429	0

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 職員研修所		重点項目	・人材育成基本方針を踏まえ、実効性のある研修を計画的・体系的に実施する。						
課長名	小石 佐織	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	98,429 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和2年度当初予算額(B)	94,814 千円		係長	1	人	
				増減額(A-B)	3,615 千円		職員	2	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				一般研修事業	職員研修実施にかかる経費。	—	3,817	3,746	-71
2				○ 人権・同和研修事業	職員の人権問題に関する認識と理解を深めるため、研修・講演等を実施する。	R3年度より職員研修業務委託事業に統合し、当該事業で人権・同和研修を実施。	1,246		-1,246
3				派遣研修事業	高度で専門的な知識・経験の習得や多様な人的交流を目的とし、国・大学院等に職員を派遣する。	南九州市への職員派遣旅費を企画調整局へ移管したことによる経費減少。	3,850	1,297	-2,553
4				省庁派遣研修事業		令和3年度の派遣予定者増による経費増加。	30,200	36,000	5,800
5				研修所維持管理事務(公共)	職員研修所の維持管理にかかる経費。	—	20,236	20,220	-16
6				研修所管理事務	一般事務費	オンライン研修動画配信の導入による経費増加。	4,220	4,766	546
7				○ 職員研修業務委託事業		—	31,245		-31,245
8				職員研修業務委託事業 (令和3年度～令和5年度)	人材育成方針に則り、人事評価項目等の人事制度と連動した、実効性の高い研修を計画的・体系的に実施する。	・R3～R5北九州市職員研修業務委託契約の初年度にあたって、人材育成基本方針に則り、人事評価制度と連動した実効性の高い研修を計画的・体系的に実施する。	0	32,400	32,400

令和3年度 課の事業一覧

組織名	総務局 情報政策課		重点項目	市のシステムを安定運用し、利便性を追及することにより、市民サービスの向上及び市役所内部事務の効率化を目指す。システム全体最適化を継続して行う。						
	課長名	浜崎 善則		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,709,755 千円	人件費	目安の金額	課長
令和2年度当初予算額(B)			2,735,069 千円			178,000 千円	係長		5	人
				増減額(A-B)	-25,314 千円				職員	14

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			デジタル市役所推進事業 (重要)	デジタル技術を活用して行政サービスの見直しを行い、「書かない」「待たない」「行かなくていい」デジタル市役所の実現に向けて、手続きのオンライン化や手続き案内機能の拡充等を推進する。	手続きをオンライン化するにあたり、令和2年度に電子申請サービスの刷新を行い、スマートフォンやタブレット、マイナンバーカードの電子署名を利用した本人認証に対応した。今後、電子決済への対応等、利便性を高めていきつつ、利用者の認知度を高めるための案内・周知を行う。	10,000	6,200	-3,800
2		○		<新>デジタル市役所推進事業(所要額)					37,200
3				地域情報化推進事業	オープンデータの利活用の推進に係る経費	—	1,589	2,521	932
4				電子申請システム利用経費(債務負担)	インターネット(パソコン、携帯電話等)を通じて、24時間365日、行政手続きが可能な電子申請サービスの提供を行うためのシステムの利用経費	—	2,070	4,686	2,616
5			○	電子申請システム利用経費(臨時)		—	4,500		-4,500
6				施設予約システム利用経費	インターネット(パソコン、携帯電話等)を通じて、24時間365日、公共施設の予約等が可能なサービスの提供を行うためのシステムの利用経費	—	2,574	2,574	0
7				総合行政ネットワーク等共同利用事業(債務負担)	県内13市町村が共同利用するLGWAN提供設備及びネットワーク接続装置の設置及びLGWAN接続に係る回線仕様に係る経費	—	734	734	0
8				総合行政ネットワーク等共同利用事業(裁量)		—	1,838	827	-1,011
9				個人番号カード利用環境整備事業	マイナンバーカードによるマイナポイントを活用した消費活性化の取組についての周知と申請支援に係る経費	—	61,000	68,952	7,952

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				社会保障・税番号制度管理・運用事業(臨時)		—	18,300	5,500	-12,800
11				社会保障・税番号制度管理・運用事業(情報政策課所管分)	「マイナンバー法」に基づく番号制度の安定運用を実施するために、「情報連携」「マイナポータルの活用」等に必要の情報システムの運用保守やセキュリティ監査を行うための経費。	—	77,300	75,834	-1,466
12				社会保障・税番号制度管理・運用事業(債務負担)		—	7,910	1,747	-6,163
13			○	全庁GIS(統合型GIS)構築運用事業(臨時)	北九州地区の自治体でのGISを共同利用するために係る経費	現地調査の写真を保存するためのディスク容量の不足が懸念され、令和3年度の予算要求を計画していたが、運用の見直し等によりディスクの増設を見送り、予算要求を中止したものの。	13,700		-13,700
14				全庁GIS(統合型GIS)構築運用事業(指定)	北九州市及びその周辺自治体でGISを共同利用するために係る経費	—	23,020	23,000	-20
15				全庁GIS(統合型GIS)構築運用事業(債務負担)		—	10,317	10,317	0
16				ICTインフラ整備運用事業(臨時)	ICTインフラ(端末、ネットワーク、サーバ及び共通機能の設備等)の適切な更新・導入、市の業務システムの安定的な運用に係る経費	令和2年度は、ハイセキュアに必要なメモリやCPU等リソースを追加し、その調整作業を委託したが、令和3年度はシステム基盤のOSのメーカーサポート無償期間が終了することに伴う有償契約や認証サーバのバージョンアップの業務委託を行うもの。	48,800	10,400	-38,400
17				ICTインフラ整備運用事業(債務負担)		—	1,248,443	1,226,005	-22,438
18			○	電子計算事務(指定)	市役所内の各業務システムを安定運用するための運用保守経費 電子計算事務に必要な資材(人的資源を含む)を調達し最適な情報化環境を維持するための経費	—	457,742		-457,742
19				電子計算事務(裁量)	市役所内の各業務システムを安定運用するための運用保守経費 電子計算事務に必要な資材(人的資源を含む)を調達し、最適な情報化環境を維持するための経費	各課が所管する運用・保守費を取りまとめているが、毎年度継続的に実施する事業であるとして、指定Bで要求していた予算を、裁量Bに集約したもの。	7,801	465,468	457,667
20				庁内イントラネット管理・運用事業(臨時)		—	13,200	12,700	-500
21			○	<新> 庁内イントラネット管理・運用事業(所要額)	庁内ネットワークの管理・運用経費 ・イントラ端末、グループウェアの使用 ・システム運用保守	—		37,100	33,874
22				庁内イントラネット管理・運用事業(債務負担)	・出張所及び出先事業所との回線使用 ・庁内ファイアウォールの運用・監視 等	—	259,613	220,329	-39,284
23				庁内イントラネット管理・運用事業(裁量)		—	63,245	62,000	-1,245

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24		○		<新>北九州地域情報ネットワーク運営事業(所要額)	市域内情報通信インフラとして、市の施設(12拠点)とデータセンターを結び、庁内イントラネットや行政サービスを提供する地域内高速ネットワークの管理運用経費	—		40,100	40,100
25				北九州地域情報ネットワーク運営事業		—	60,795	28,187	-32,608
26				ネットワーク統括管理事業(債務)	ネットワーク管理・運用業務のアウトソーシングに関する経費	—	94,115	94,115	0
27		○		<新>自治体情報セキュリティ対策事業(所要額)	県や市町村が共同で行う高度なセキュリティ対策を施したインターネット接続等の運用経費 ・県経由のインターネット接続 ・システム強靱化(ネットワーク分割)を実施	—		23,600	23,600
28				自治体情報セキュリティ対策事業		—	210,177	202,937	-7,240
29				行政情報検索サービス	インターネットを利用し、中央省庁や地方自治体の最新の政策等、業務上必要な情報を閲覧、取得できるサービスのライセンス費用	—	11,880	11,880	0
39				情報政策課事務費	一般事務費	—	4,506	4,242	-264
31		○		<新>システム基盤最適化事業	稼働から10年が経過した「システム基盤」を効率的に運用するため、システムを取り巻く環境の変化に対応し、最適化した次期「システム基盤」構築に向けた作業経費	次期システム基盤上で使用される環境を評価環境に先行して設けることにより、円滑な移行や次期業務システムの課題を検証する。また、次期システム基盤環境の構築の要となるデータ連携基盤の整備に係る調査分析を行うことにより、より柔軟かつ確実な連携の在り方を検討するもの。		25,900	25,900
32				情報システム再構築事業(所要額)	機器更新に伴うテスト作業経費、新型コロナウイルス感染症及び情報セキュリティ対策のための入退室管理機能強化に係る経費	—	9,900	4,700	-5,200
33		○		財務会計・システム基盤構築運用事業	次期財務会計システムを稼働させるシステム基盤の構築運用に係る経費	—	10,000		-10,000